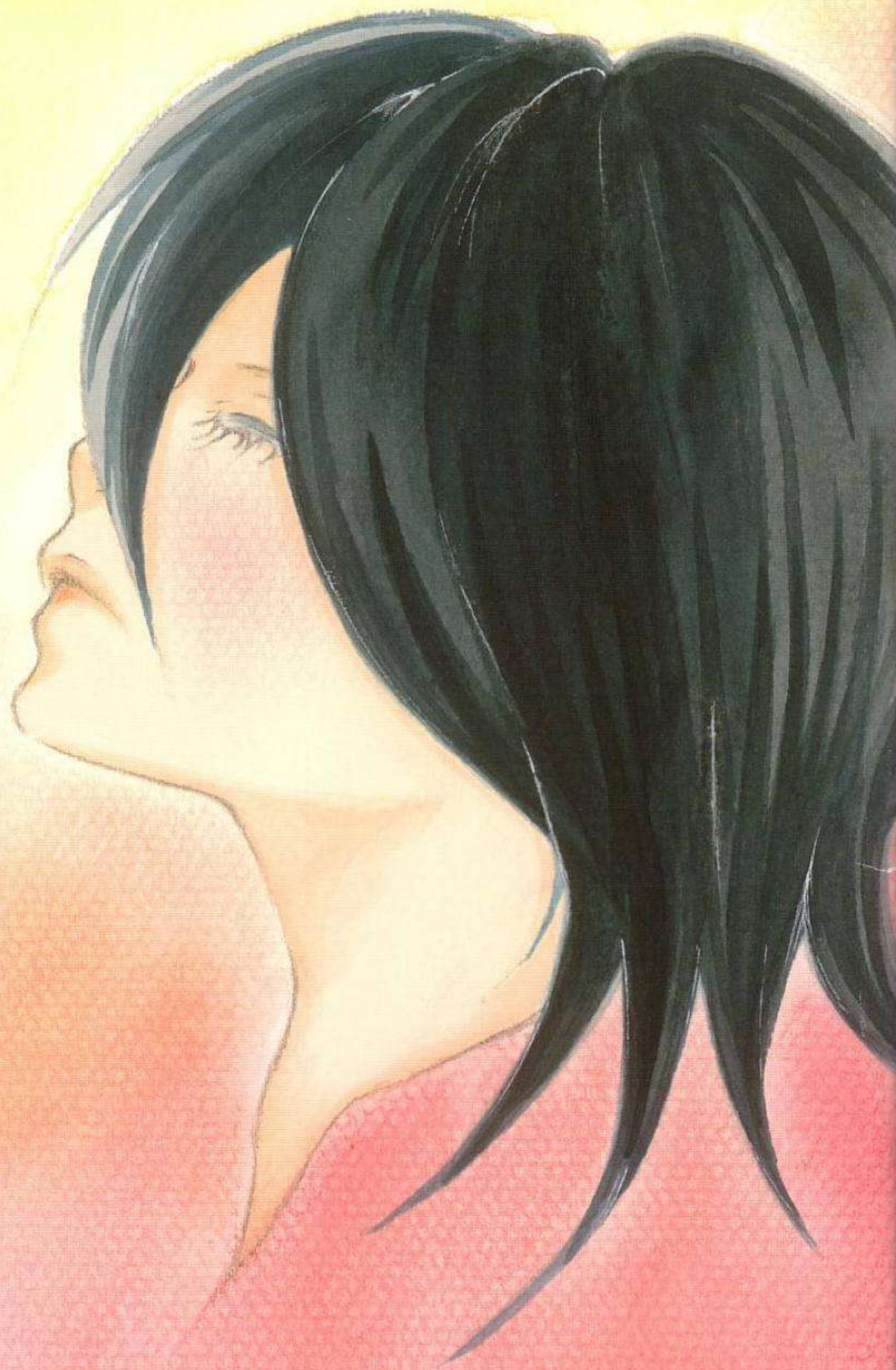
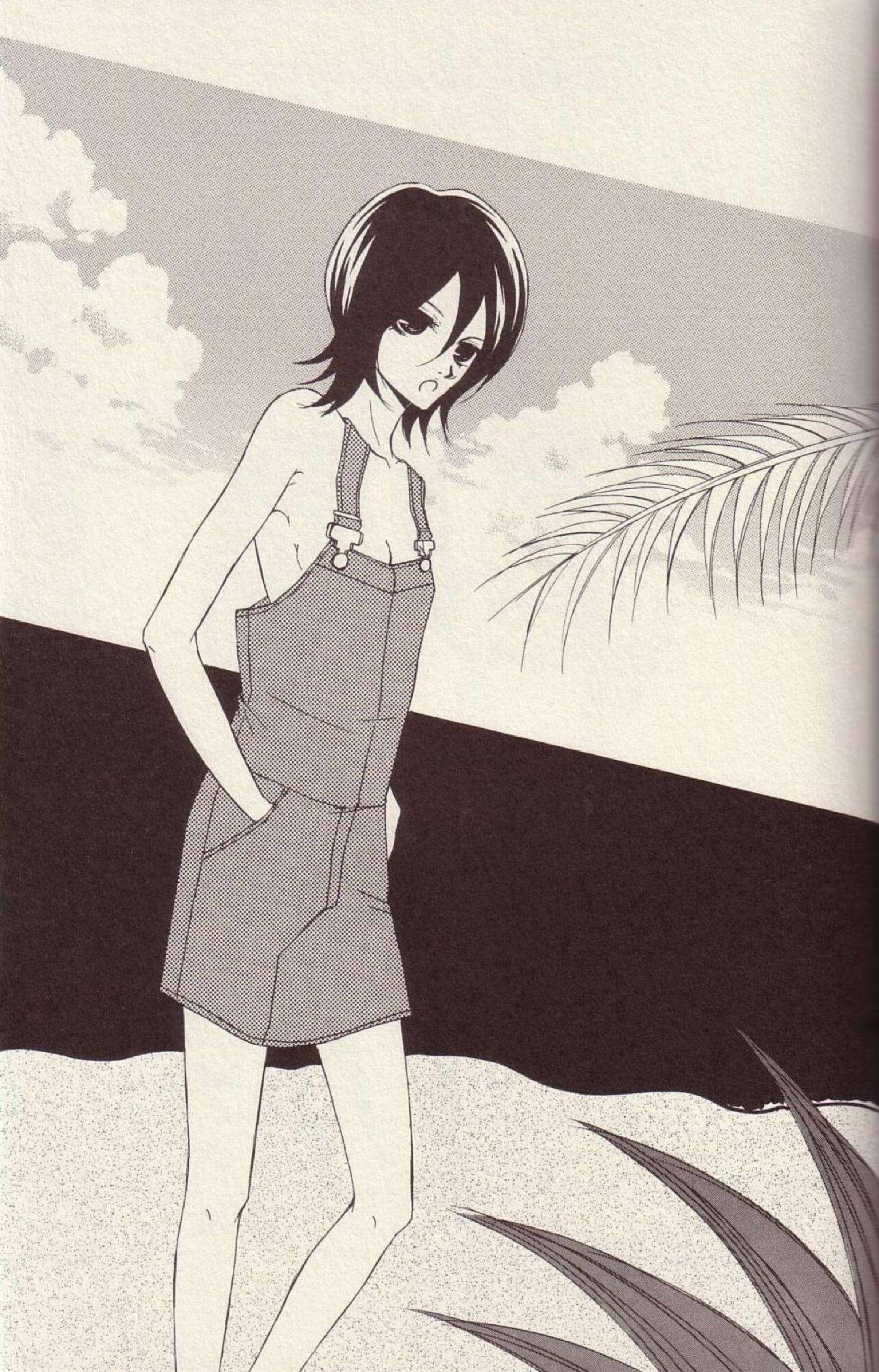


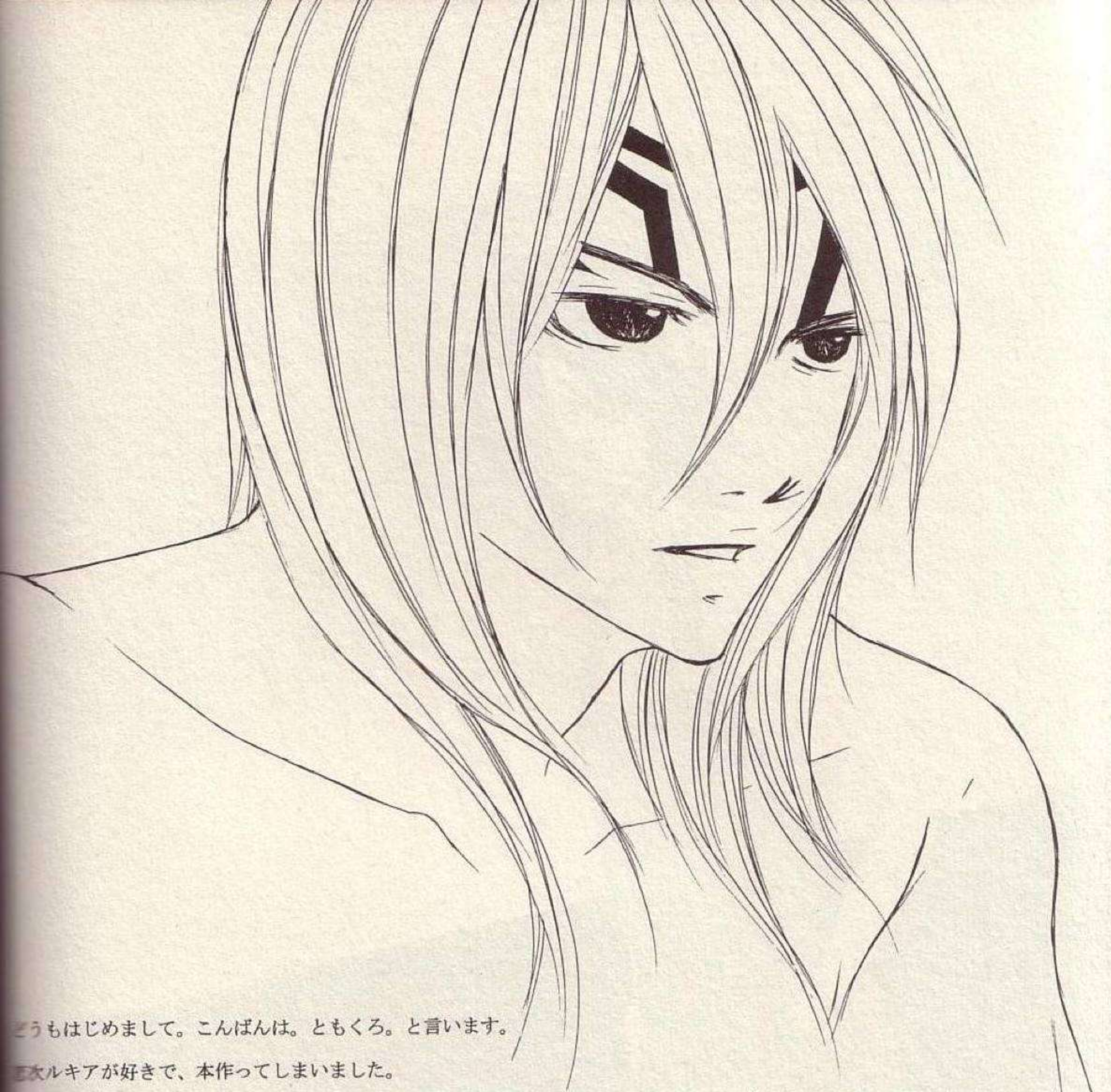
うたかた  
たかた  
かた











どうもはじめまして。こんばんは。ともくろ。と言います。

恋次ルキアが好きで、本作ってしまいました。

ずっと10年以上同じジャンル、同じカップリングを（ノーマルではありませんが）好いていたので、他のジャンルの、他のカップル（に勝手にカップルにしてみる）を好きになったのは、信じられません。

ので、本作ってしまいました。

ちょっとでも恋ルキ世界に浸っていただけたらいいなあ、と思います。

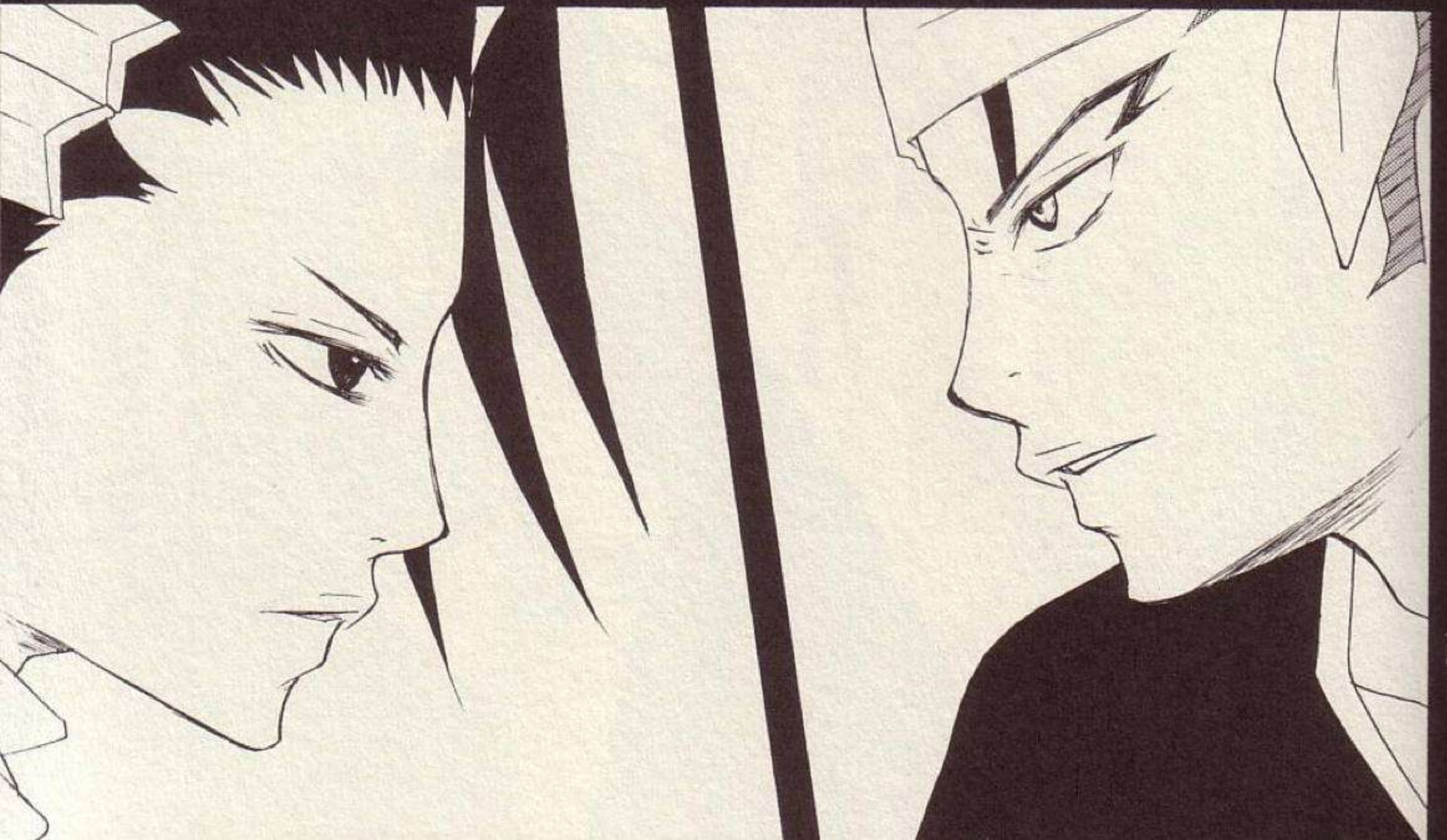
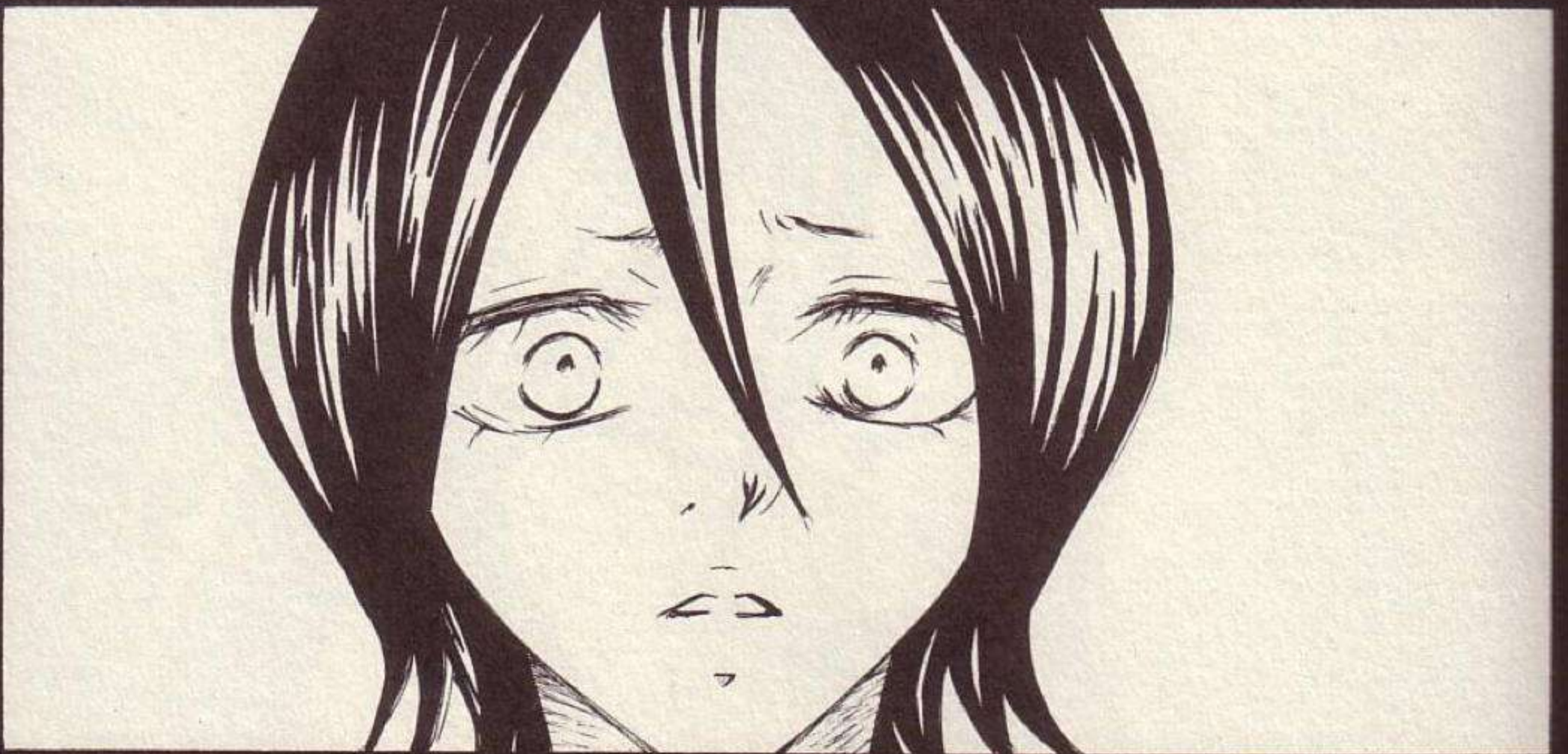
ちなみにコレを描いていた07年6月は、ブリーチ全巻持っておりませんでした（恋ルキ色と一ルキ色の強い巻、7、8、11、14、17、18だけ持っていたという）ので、恋次のたとう（笑）省略しすぎてすいません。資料がなく  
てわかんなかった。髪の毛好き勝手描いて申し訳ない。

というか、17巻はあれですね、主人公は恋次……。

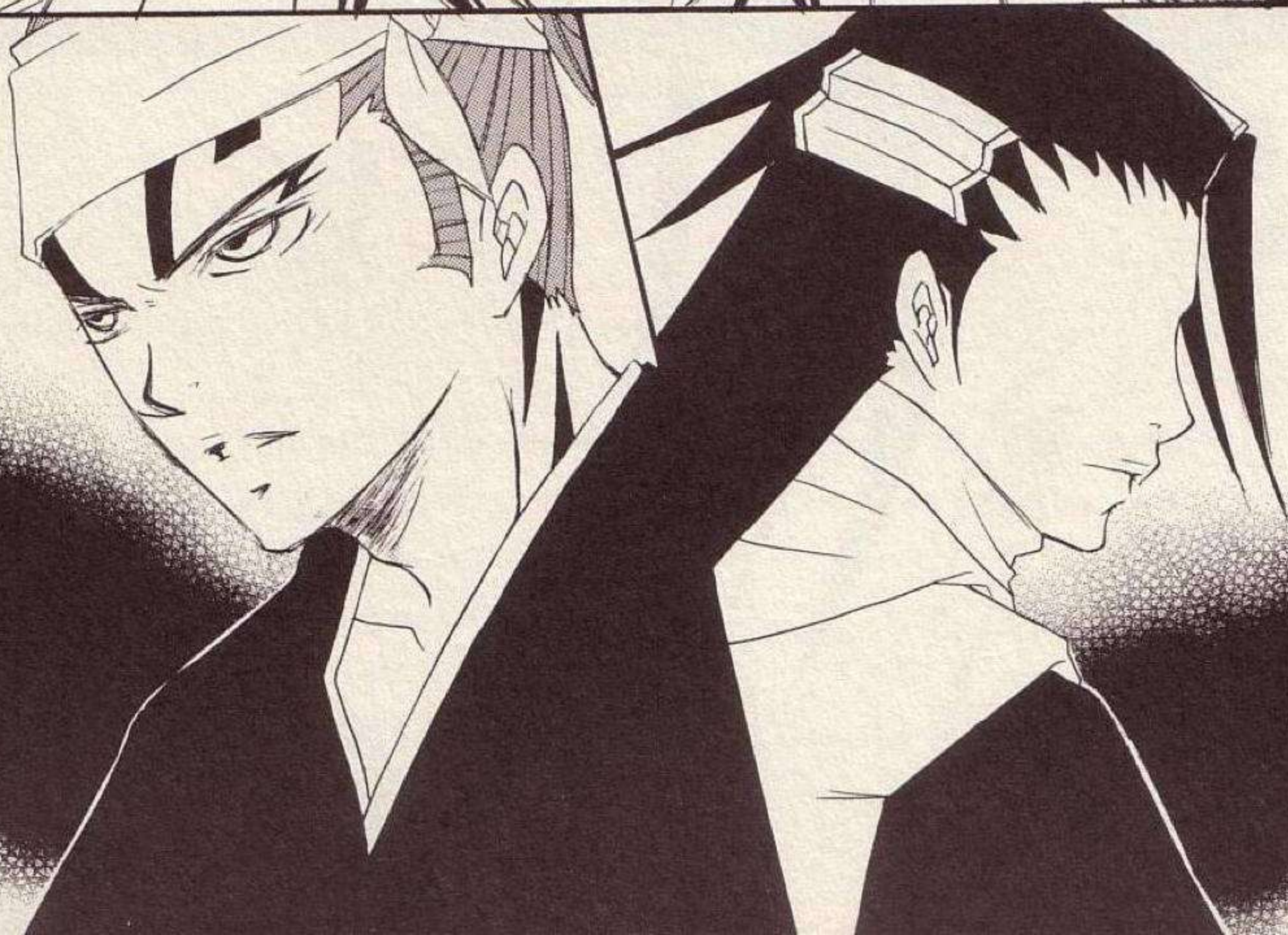
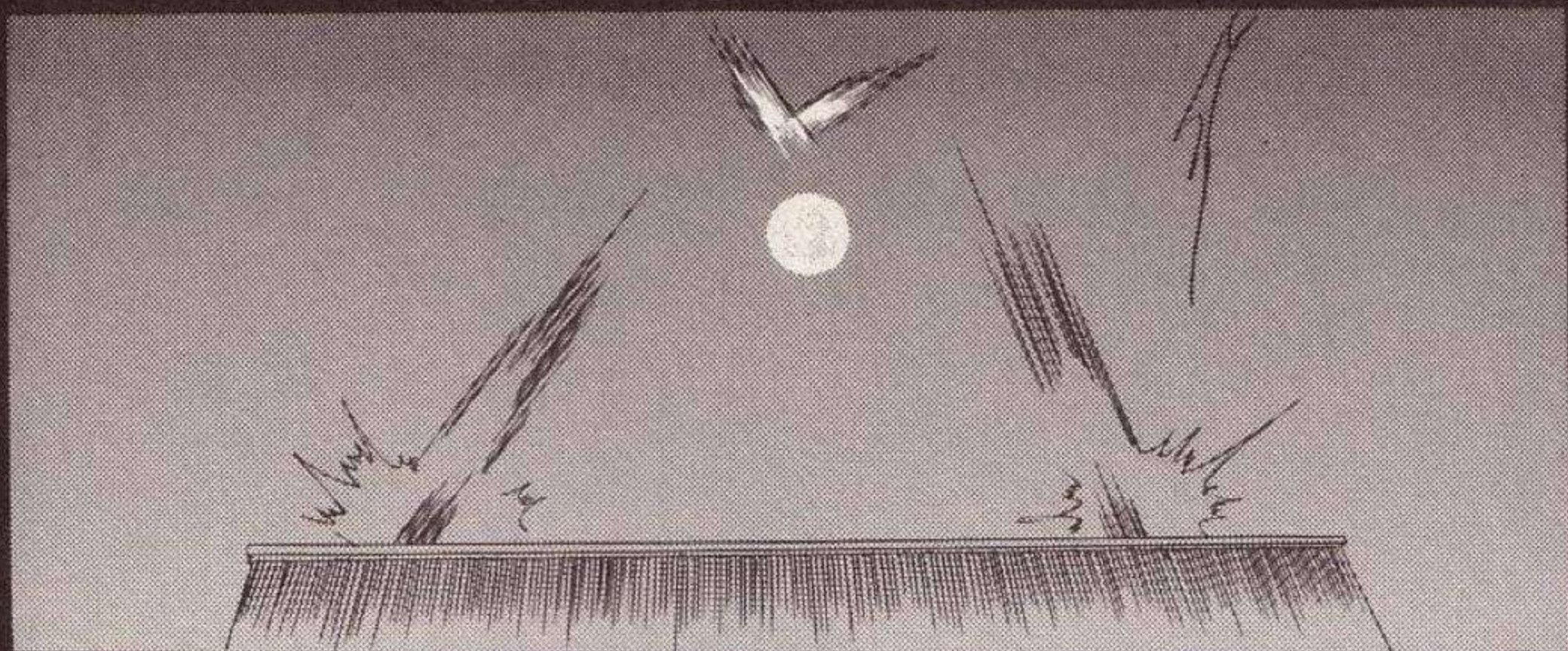
あ、そールキも好きですが、  
よみせんです。  
たゞかしくて。

現在、8月、やっと人様からブリーチ全巻を譲り受けることができました。ばんざい。

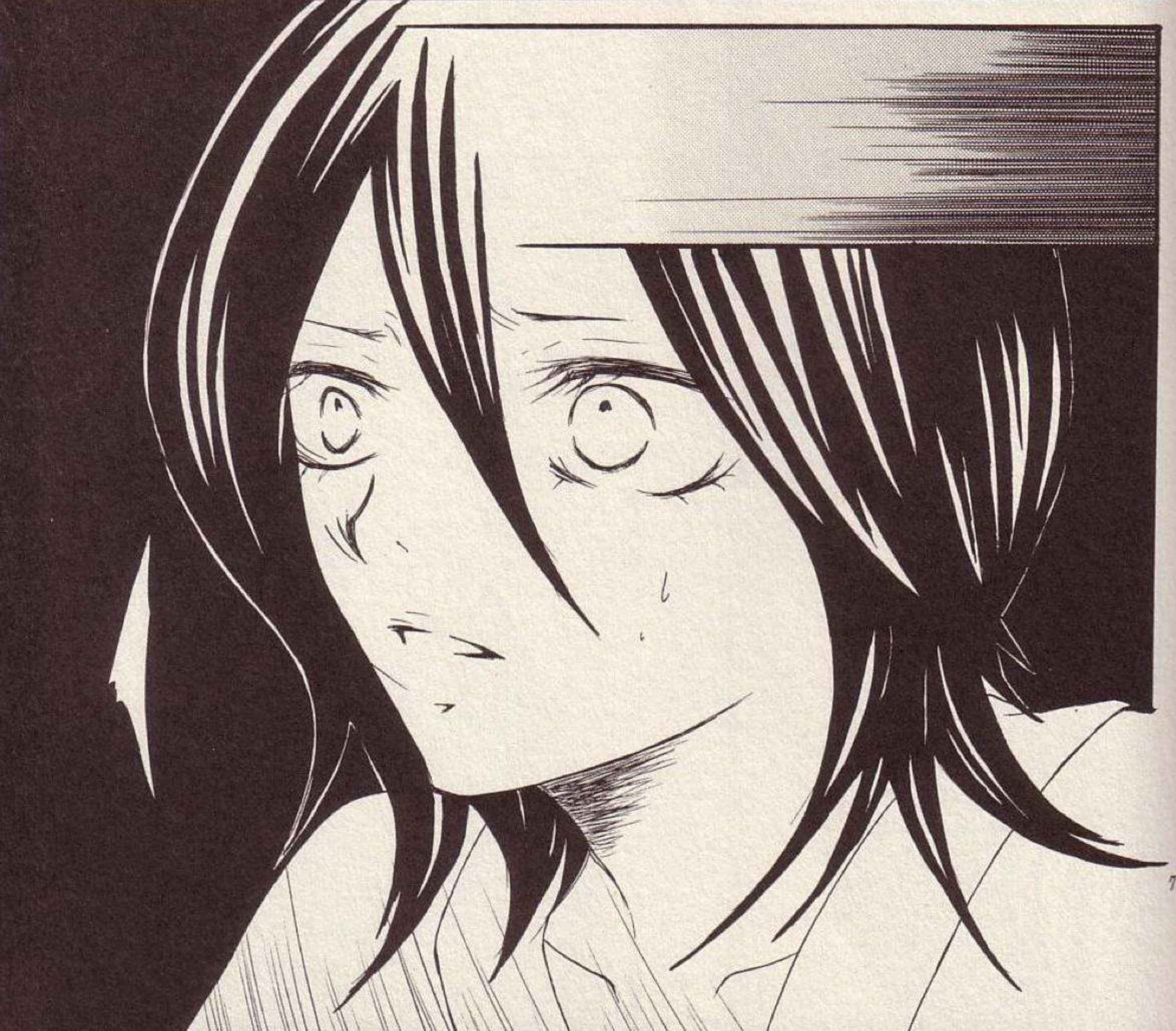
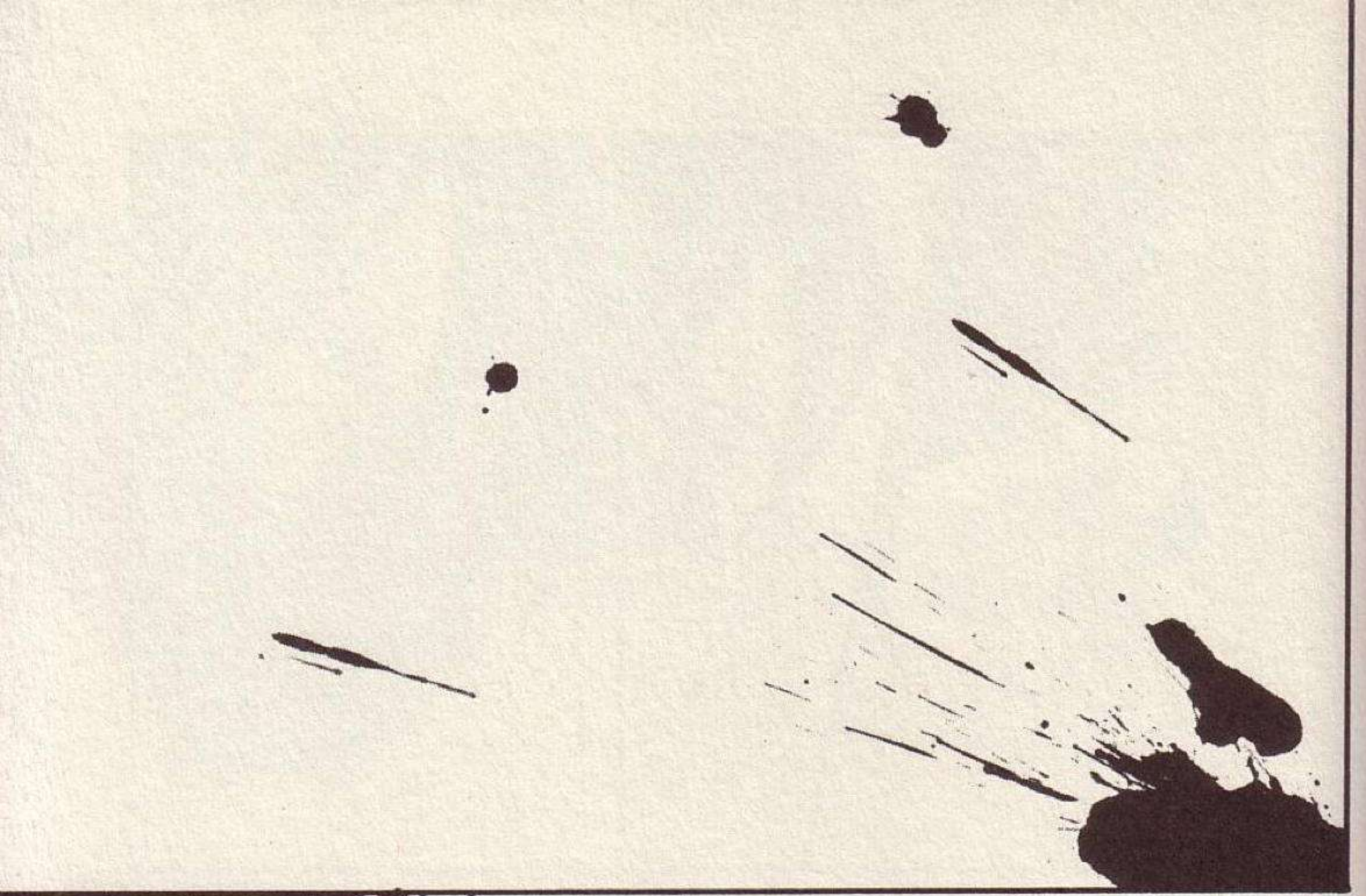












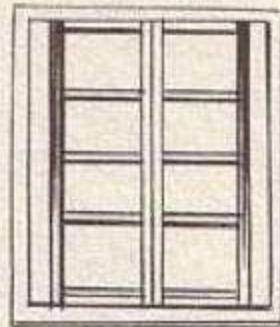




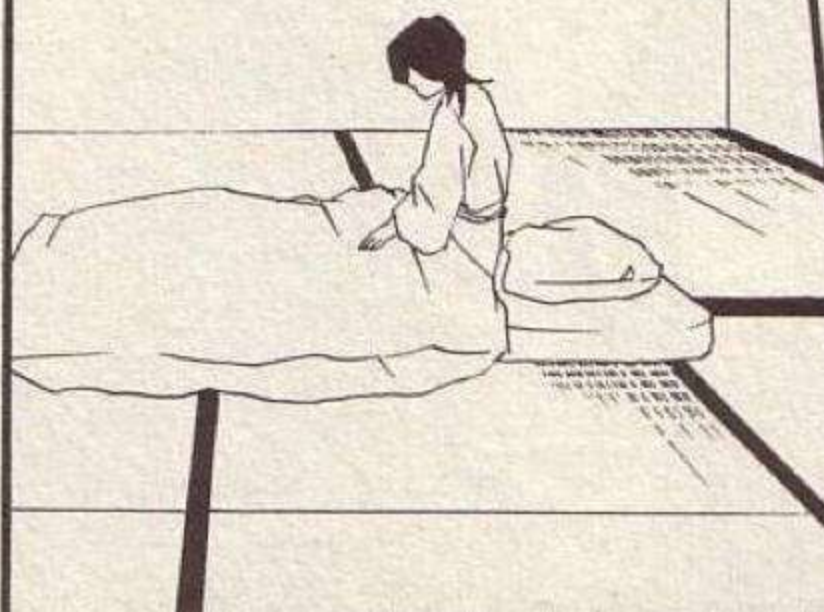
夢か……



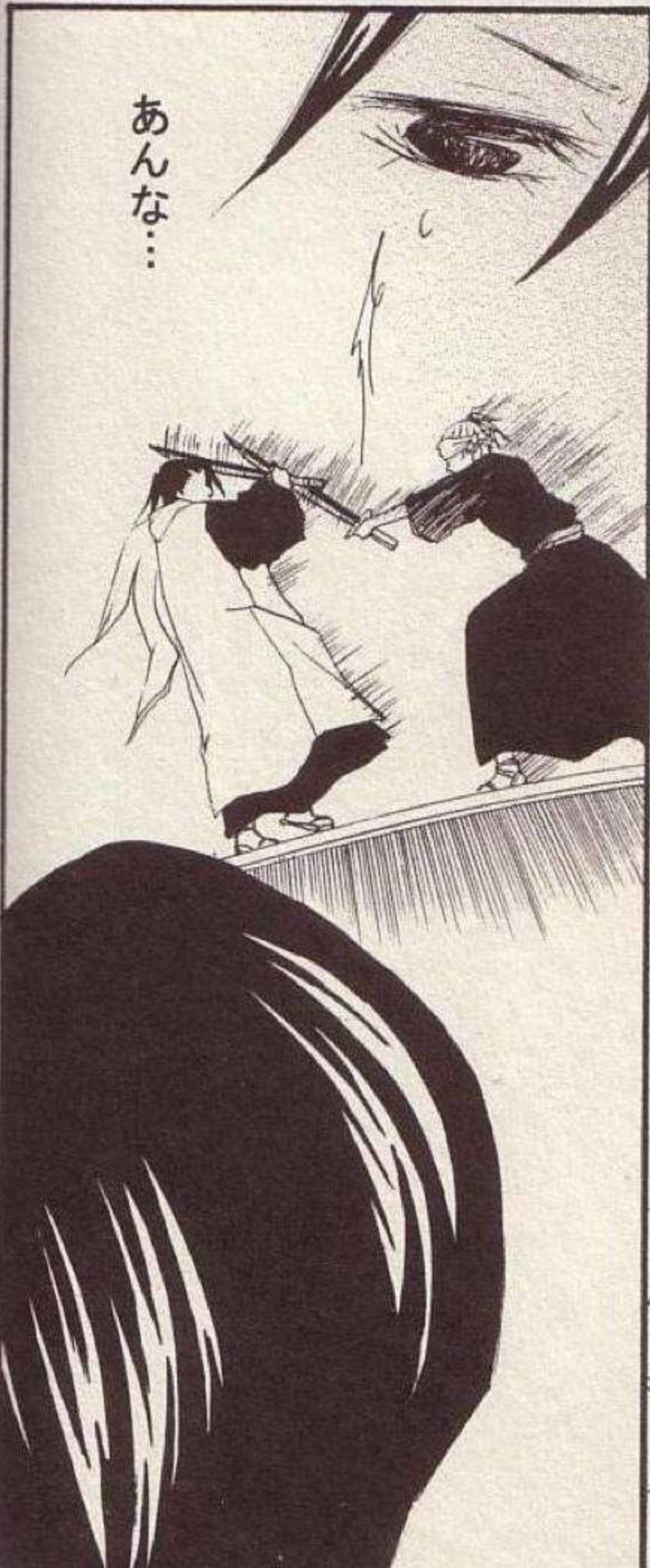
それもそうだ  
夢に決まっている



あんな



あんな……





夢だとわかっているのに



んあ...

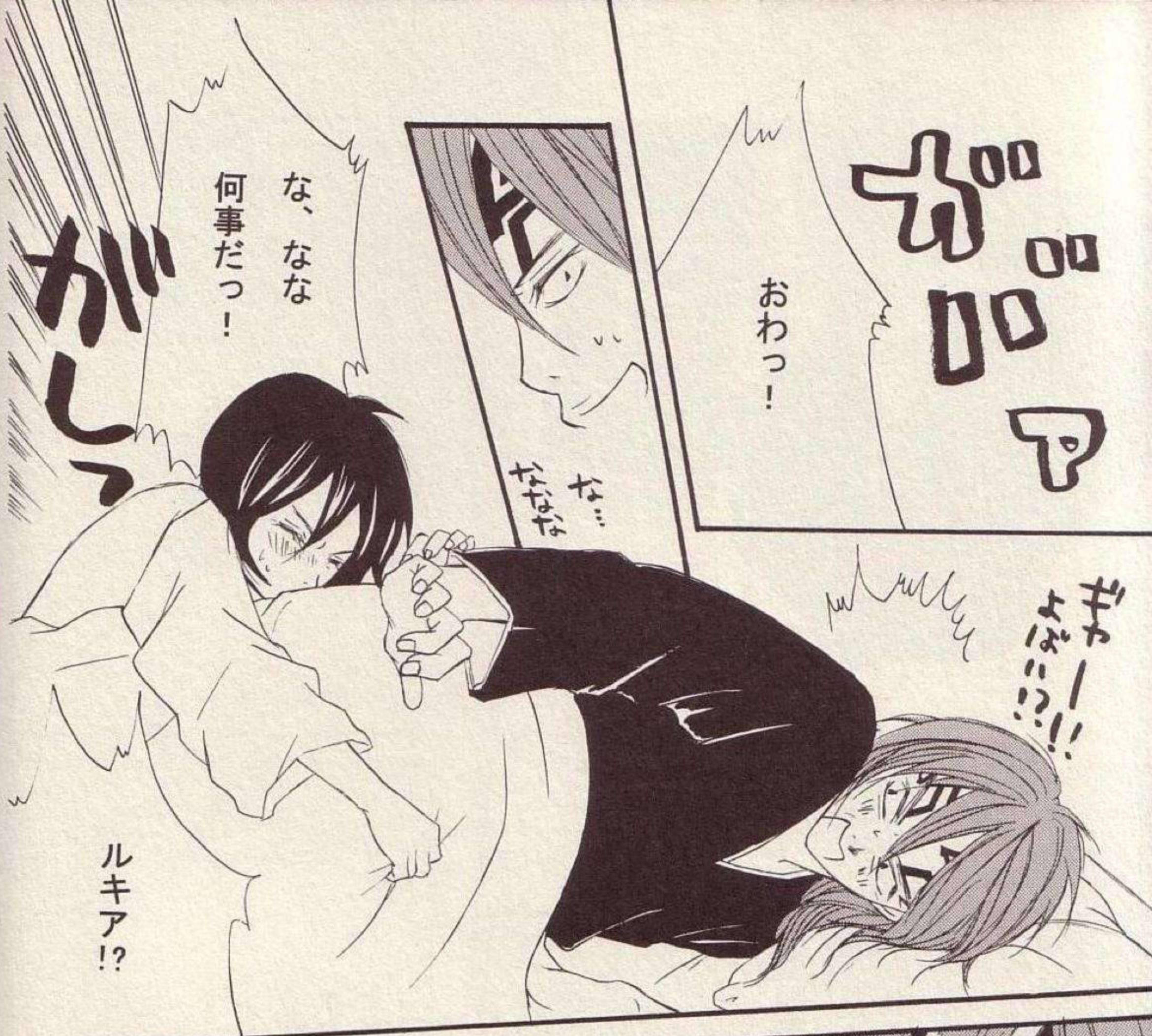


んあ？

なぜ私は夜中に  
走っているんだ——？  
(太もも出して)







おわっ!  
おわっ!  
おわっ!

おわっ!

な...  
な...

な、なな  
何事だっ!

か  
か  
か

ルキア!?

おわっ!  
おわっ!  
おわっ!



うっ  
うっ  
うっ

お前何だよ

こんな夜中につ

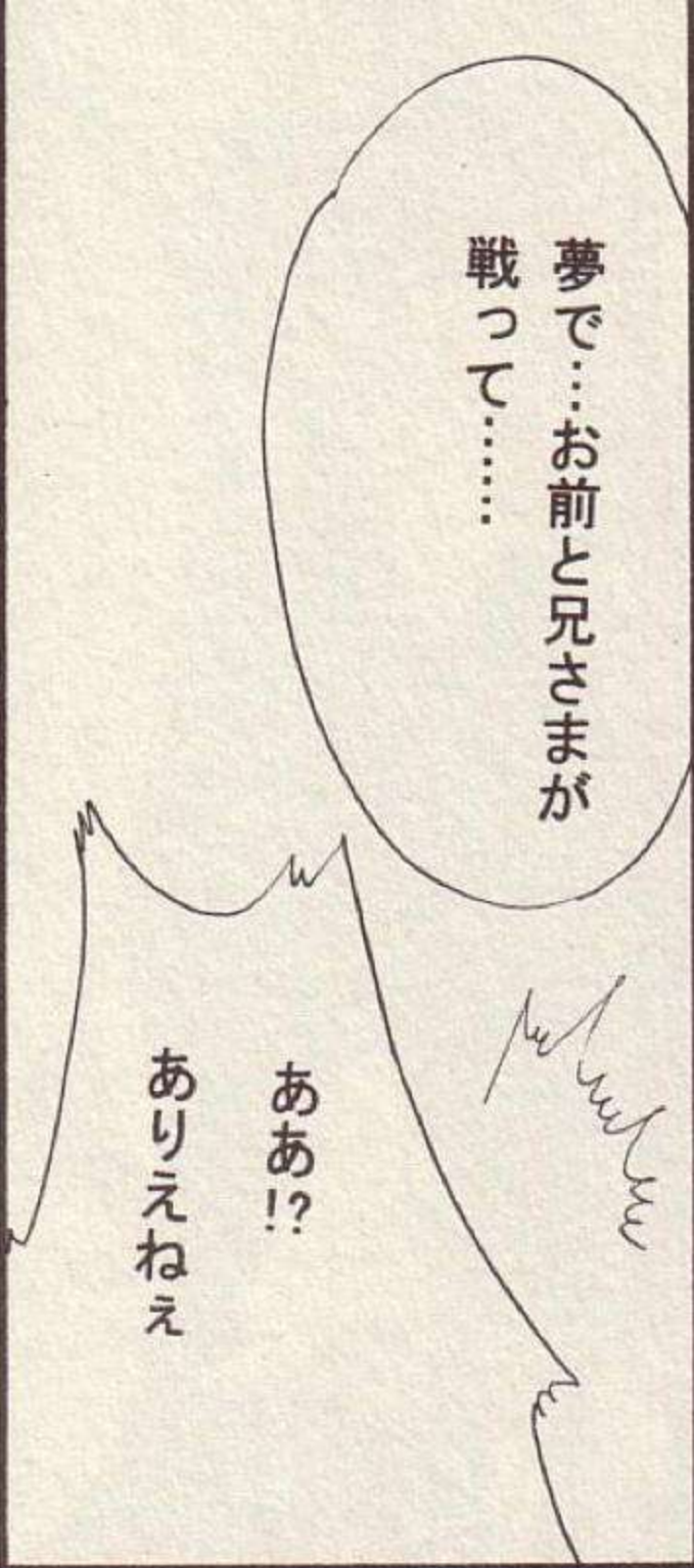






お前が兄さまを……

ブスリ！と



夢で……お前と兄さまが  
戦って……

ああ!?

ありえねえ



あ？

……が……



おや  
はは

俺があの人に勝てるわけ  
ねえだろっ



刺し殺した

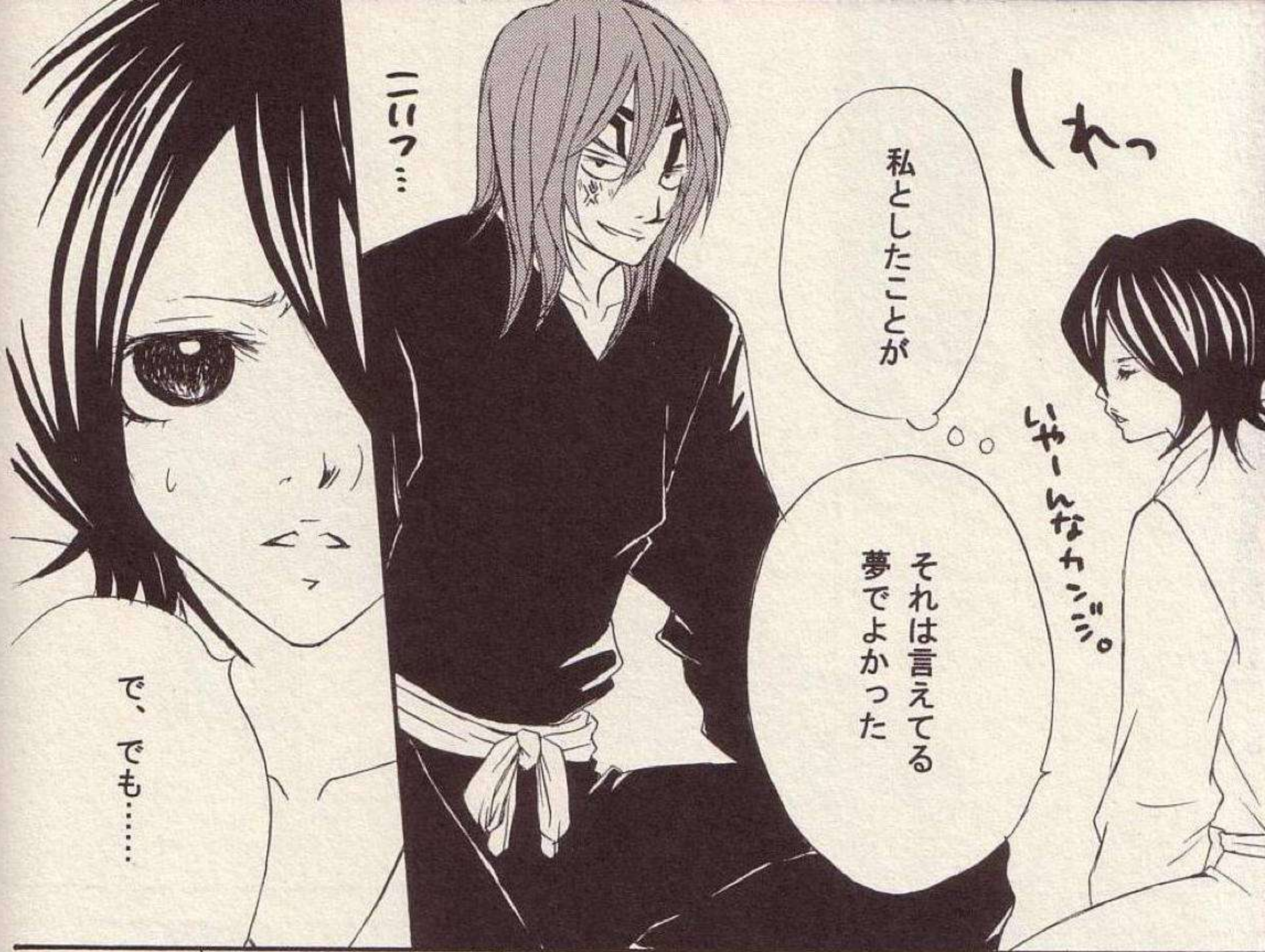
ハア!?

ありえねえ！そりゃ  
何かの間違いだろっ

お前

一護ならともかくっ





しゅっ

私としたことが

いざいざなカハハハ。

それは言えてる  
夢でよかった

ハハハ...

で、でも……



ハアーンそれで  
心配になって  
来たわけだ

フーン

ニヤリ

お前もいいとこ  
あるよなー

隊長じゃなくて  
俺のとこ  
来るなんて

兄さまは眠って  
いたし…



なんか得した  
気分♪

アッ

わ、私は悪い夢を  
見てっ

来たのだぞっ！

ッ……

ハッ

……

はあっ

……



あの時

んっ

夢の中で

恋次は笑って  
兄さまを斬った

やっと  
隊長を超えたと、

高笑いした

あんなのは、

恋次ではない

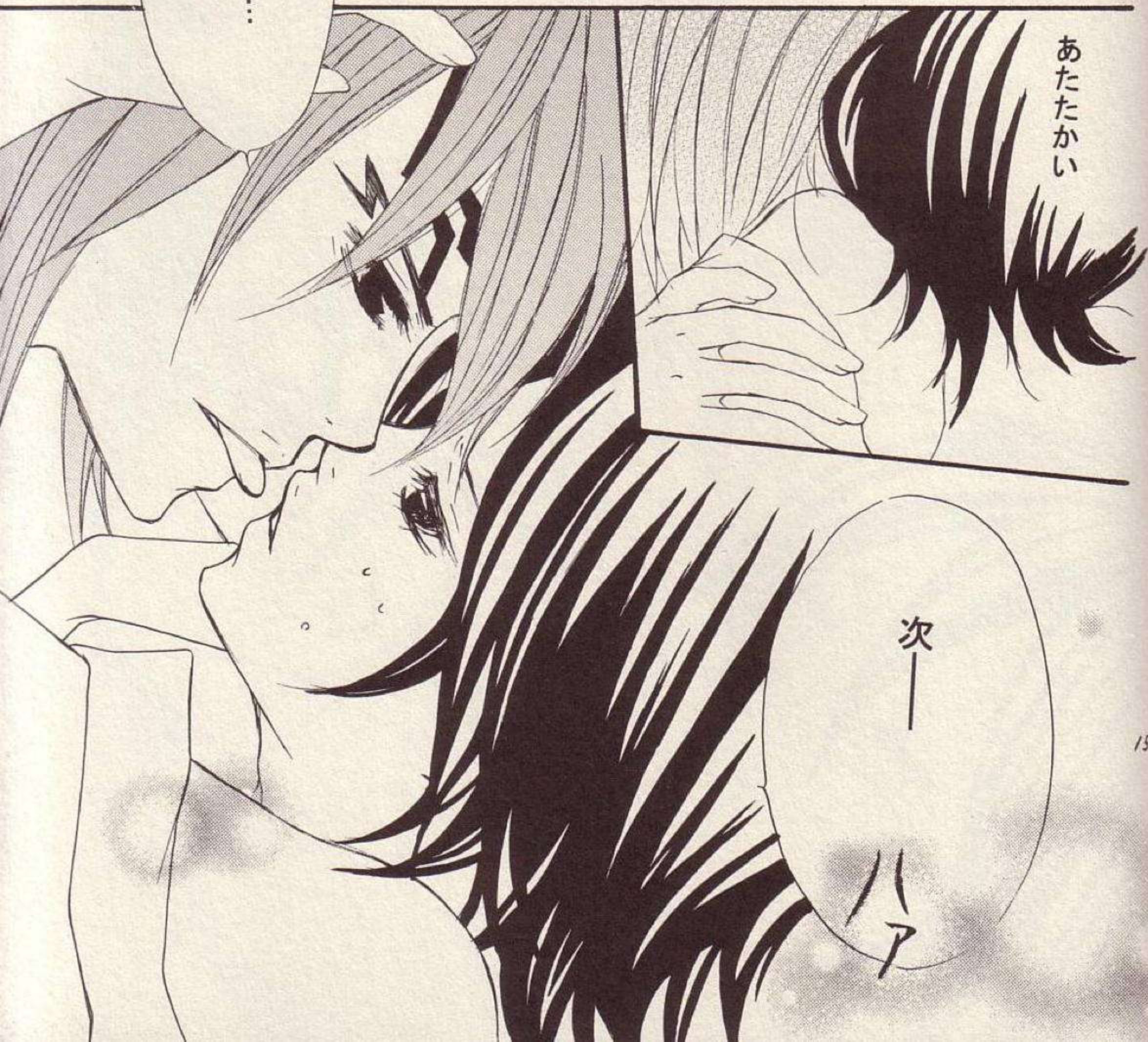




恋次は口は悪いが

もっと優しくして

ルキア……



あたたかい

次

ハア





クハッ

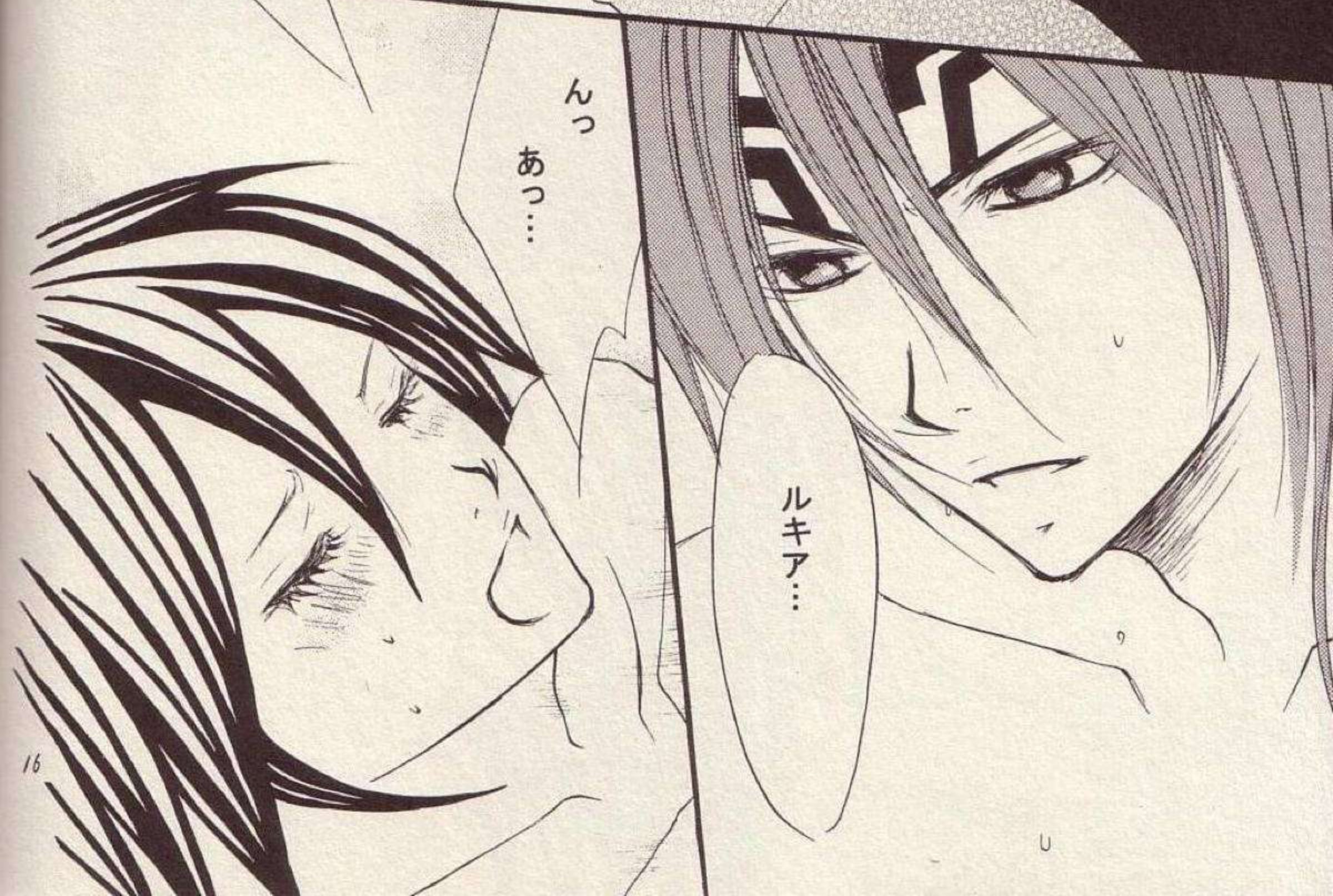
はっ...  
あっ...

又フュ

っ  
あっ...

恋  
次っ...

スツ  
スツ



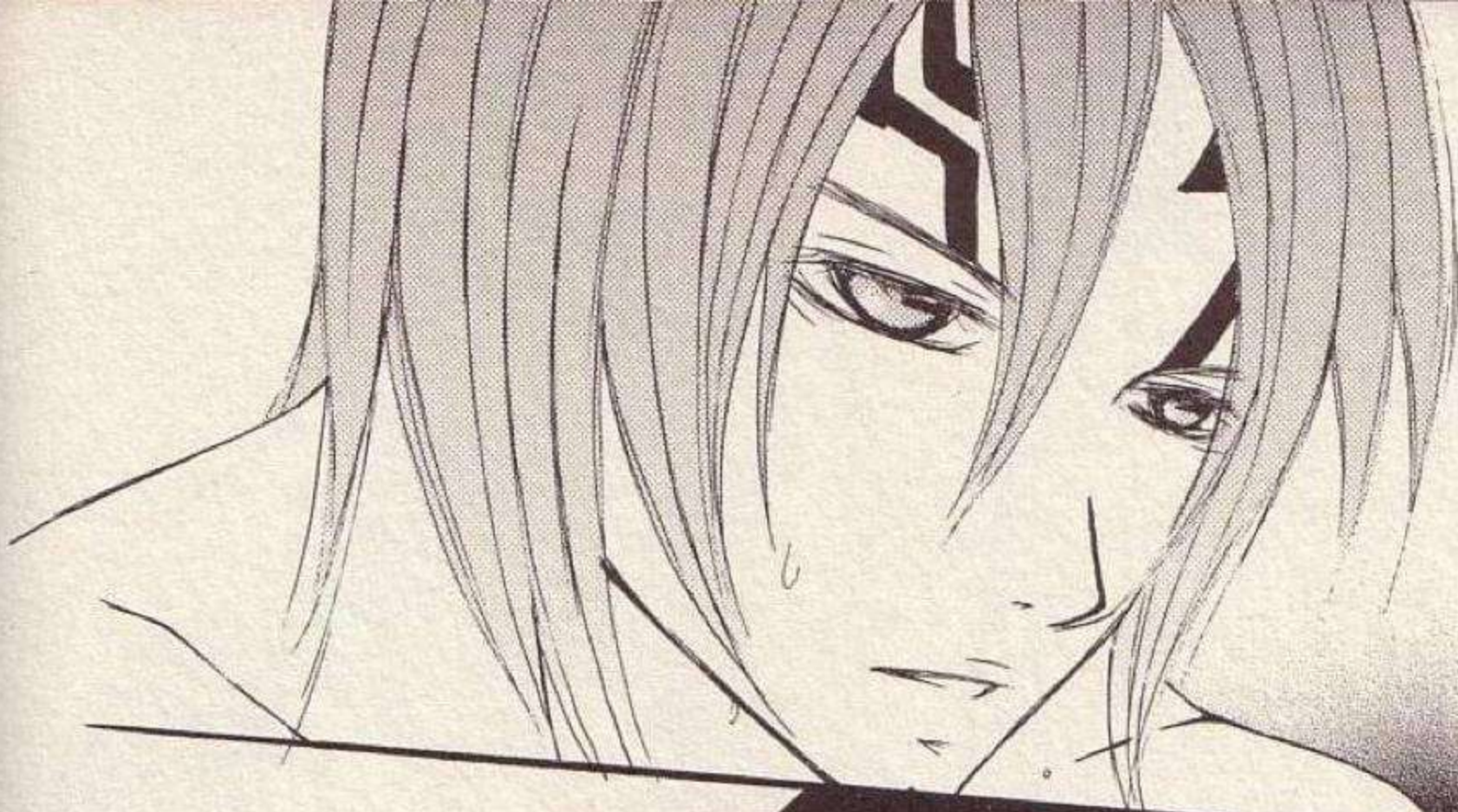
んっ  
あっ...

ルキア...

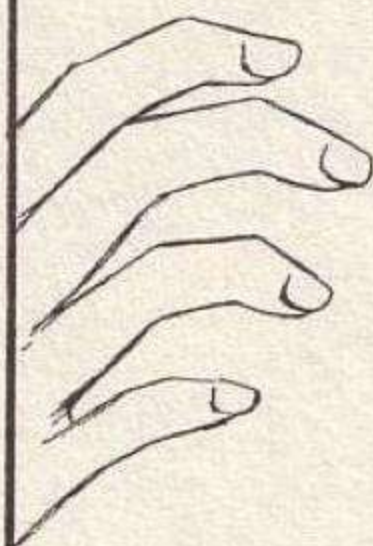
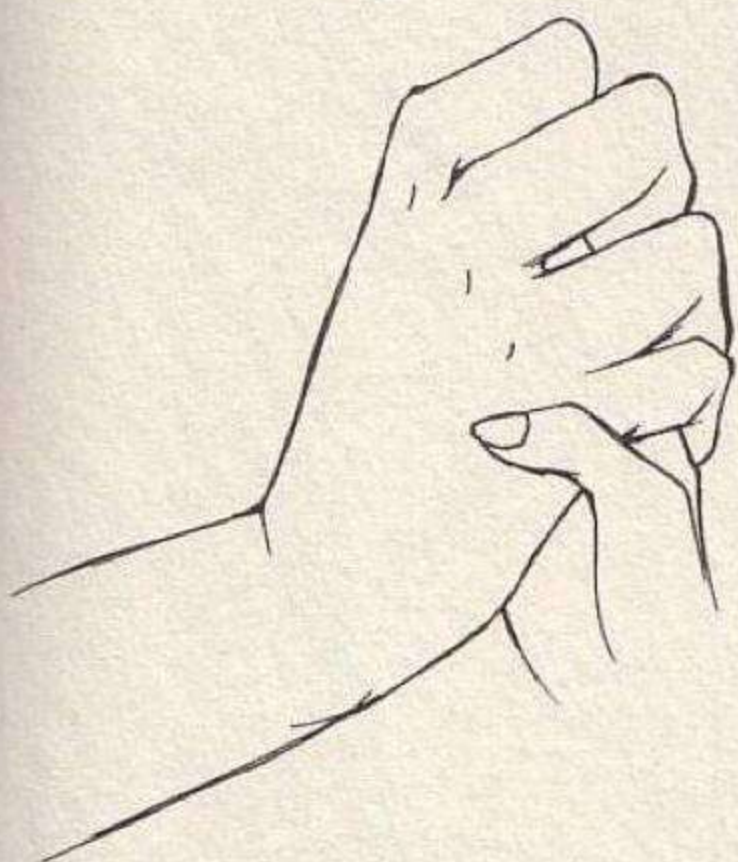








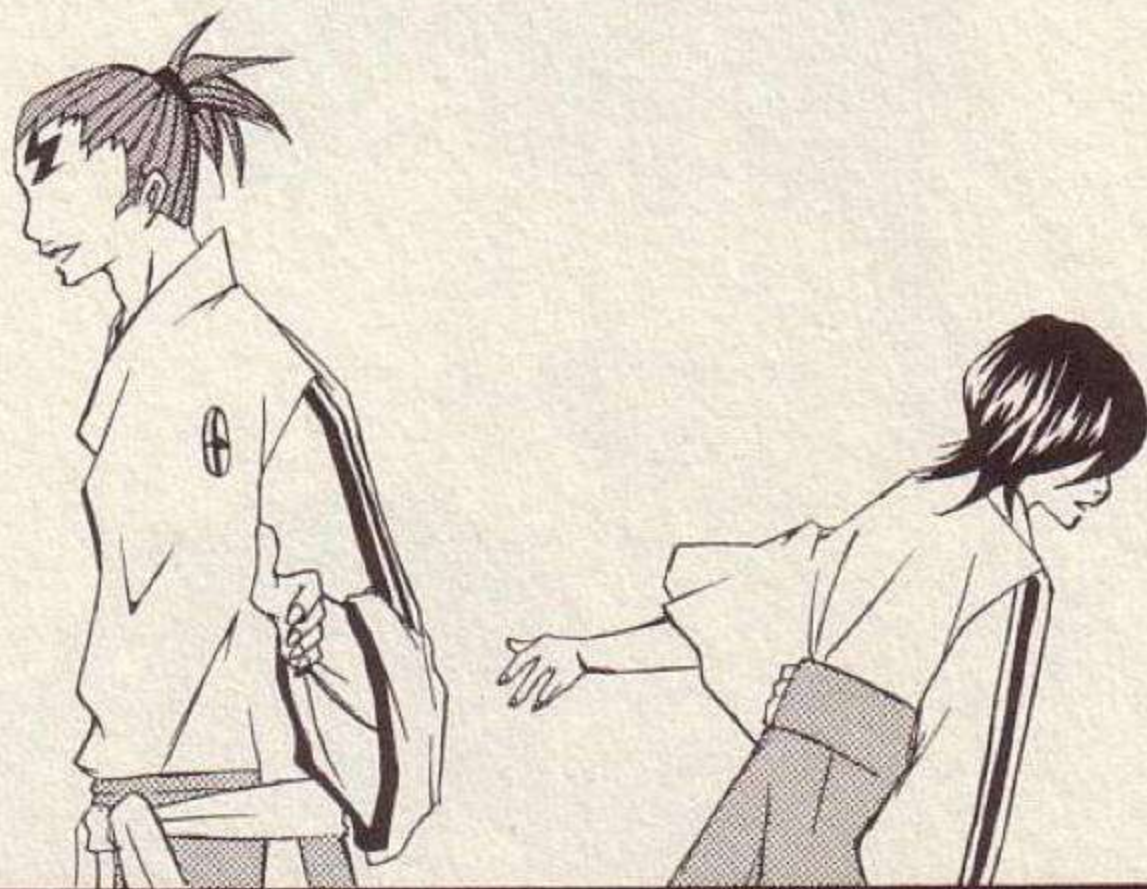
#43





私達は一度

その手を離したね

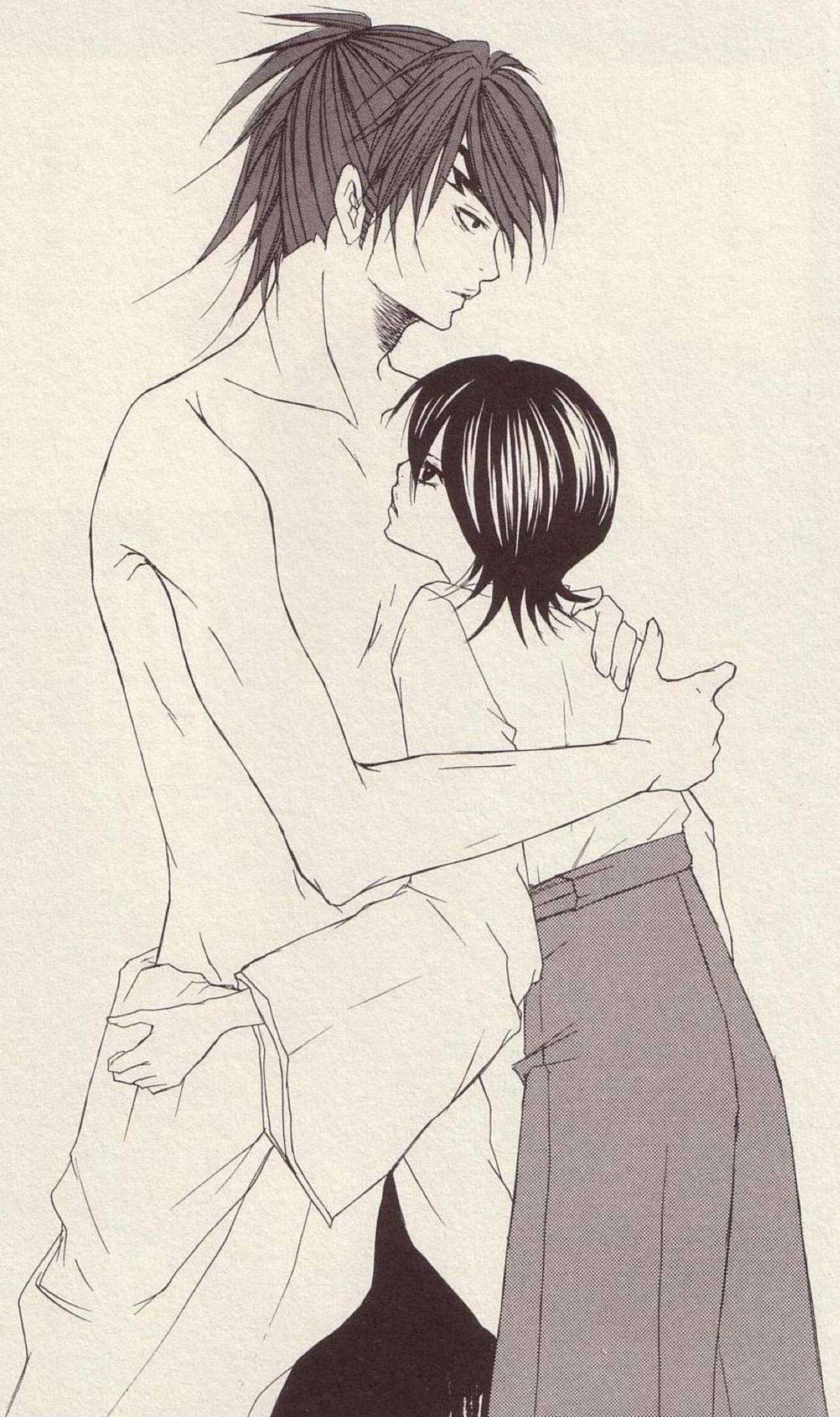


手離したものは  
もう戻ってこない  
とわかっているから

今度はもう片方の手で  
つなぎ合わせるのかもしれない

強く 強く



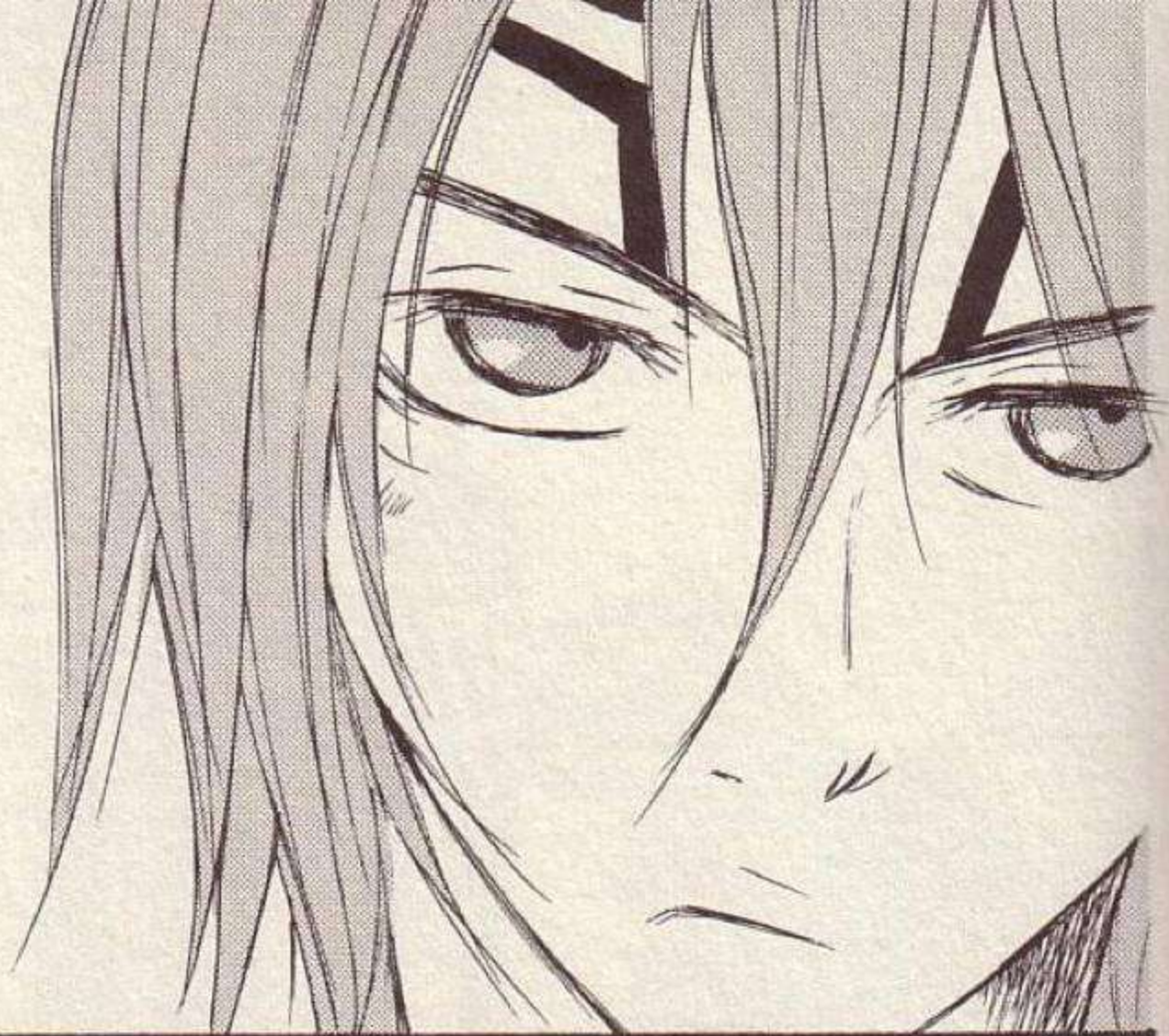




恋次のひとりごと

↑  
タイトル

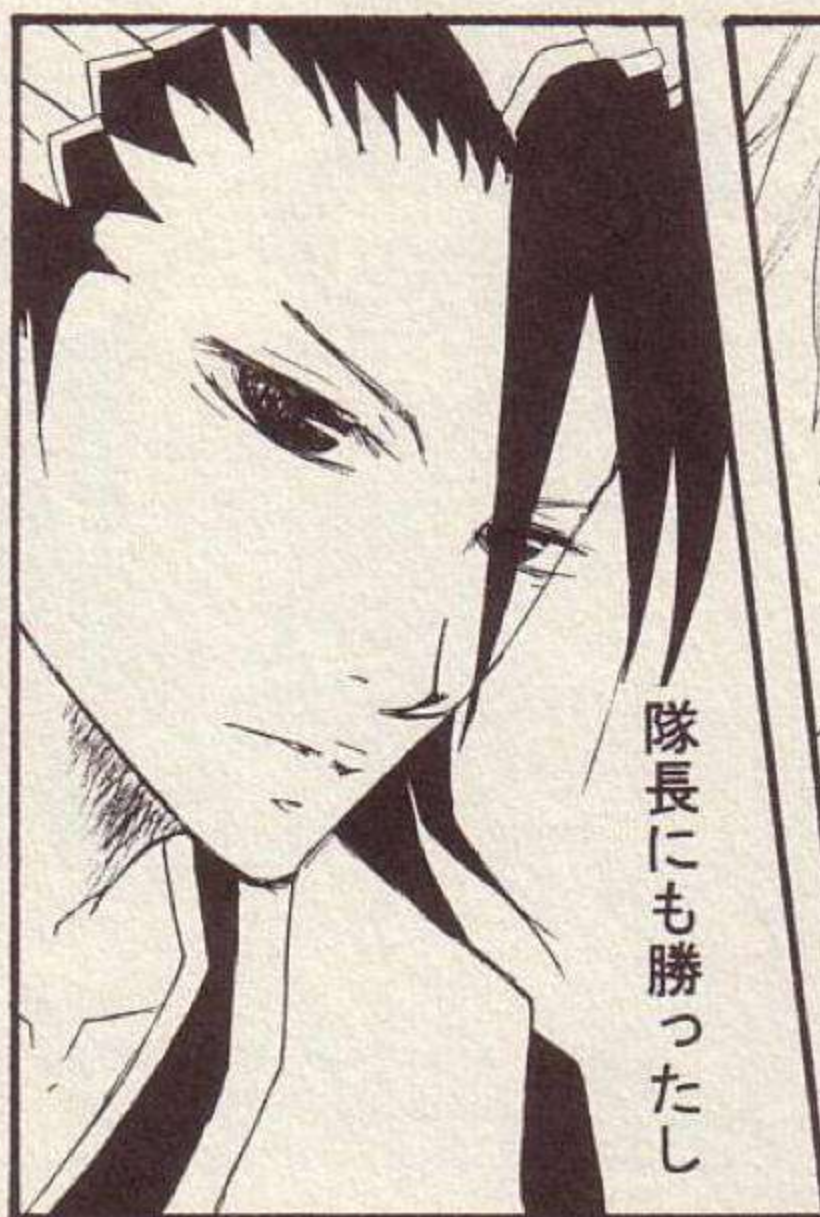
俺は



一護をすいといと  
思ってる



ルキアを助けたし



隊長にも勝ったし



俺にも勝ったし



いやわかってる

あいつはすいとい



思う度

でも時々

抱いた手に無力感が  
にじんだ

「ありがとう」

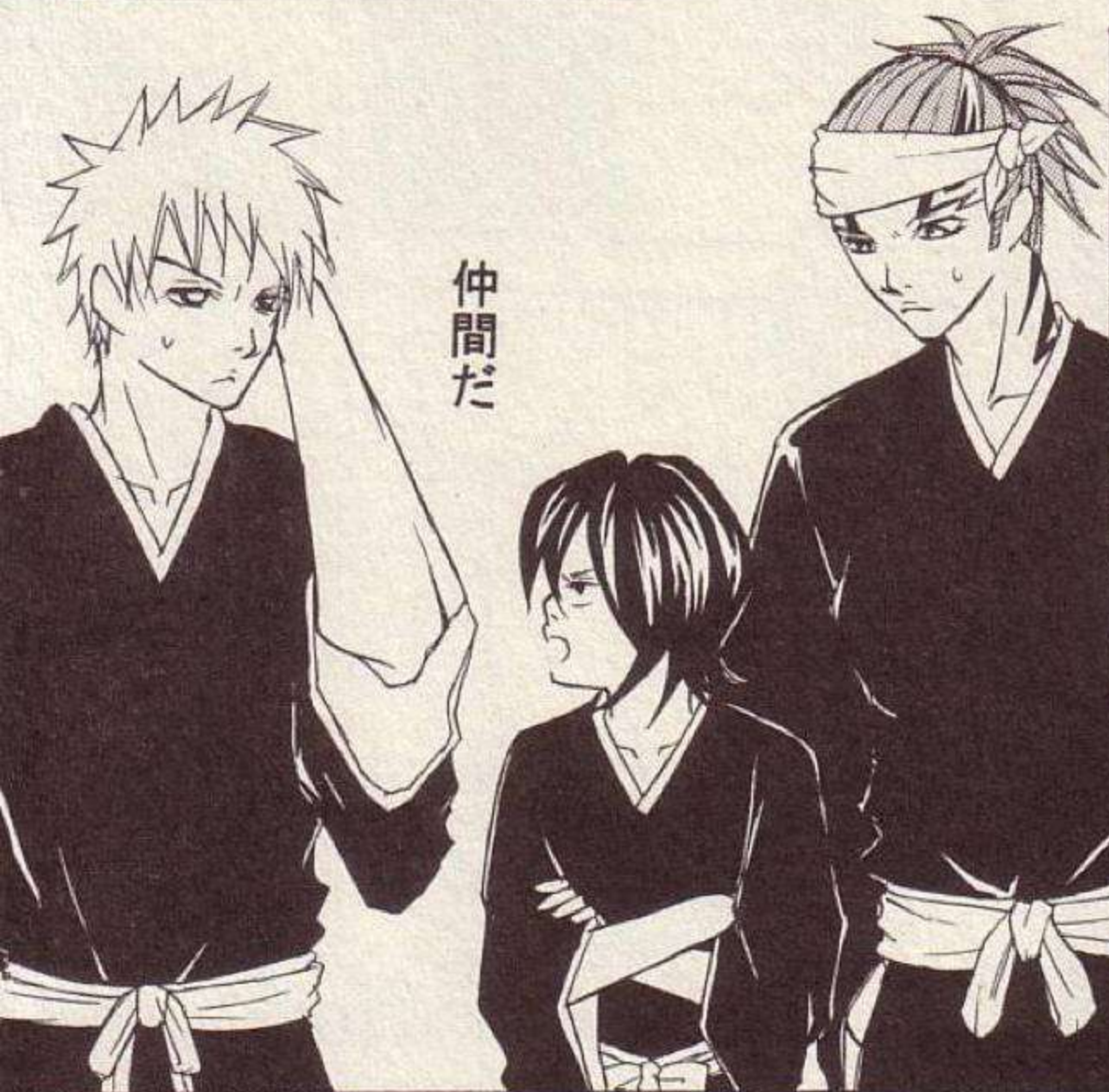
ルキアを助けたのが  
俺だったらって

「恋次」





礼言われんのも  
俺じゃないし



仲間だ



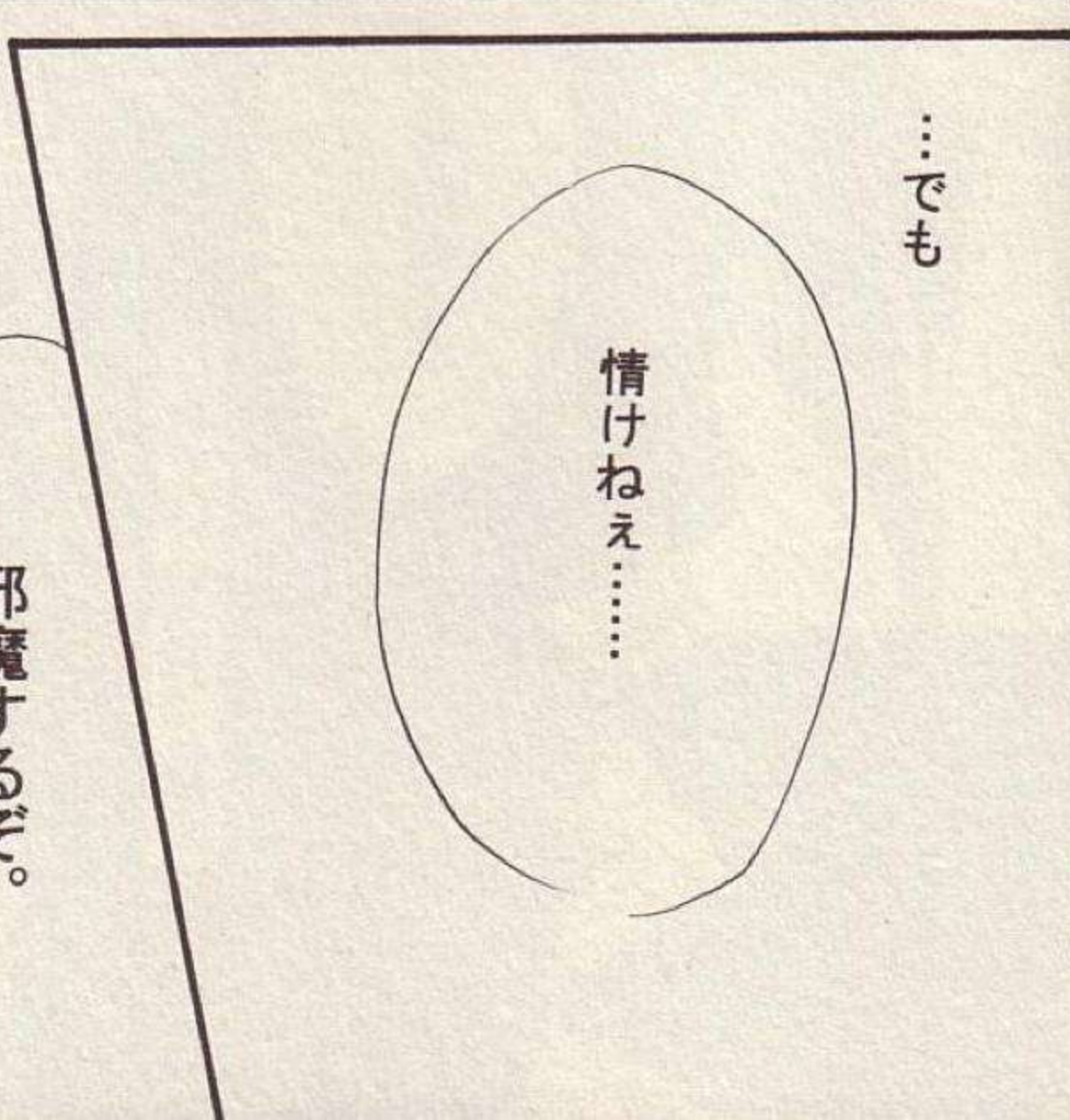
いまちう一護に

焼きもち焼いて  
どーすんだ

一護は仲間



邪魔するぞ。



…でも

情けねえ……



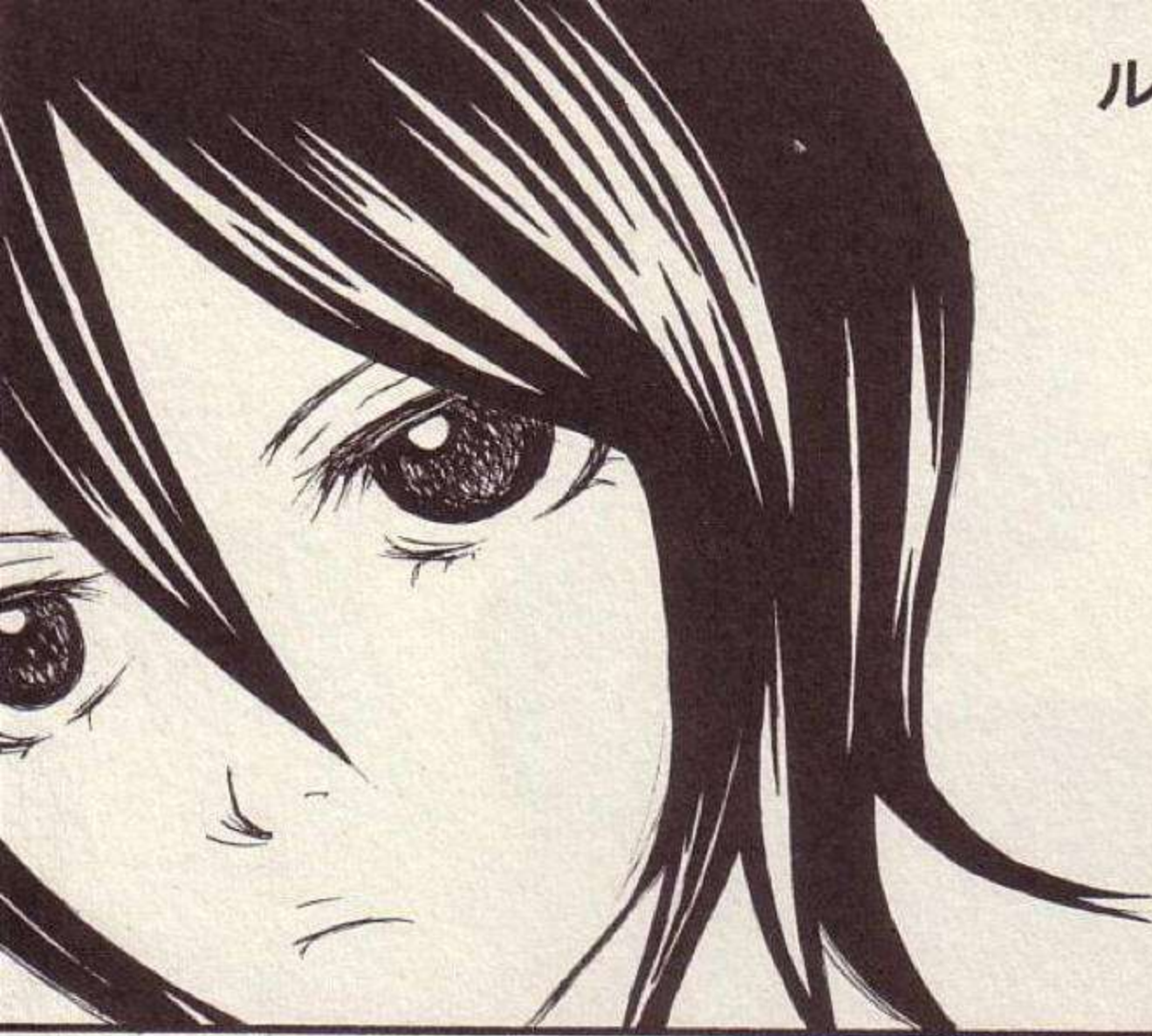




ルキアのひとりごと

私は一護を

信頼している



私を助けたし



兄さまに勝ったし



恋次にも勝った  
(らしい)し

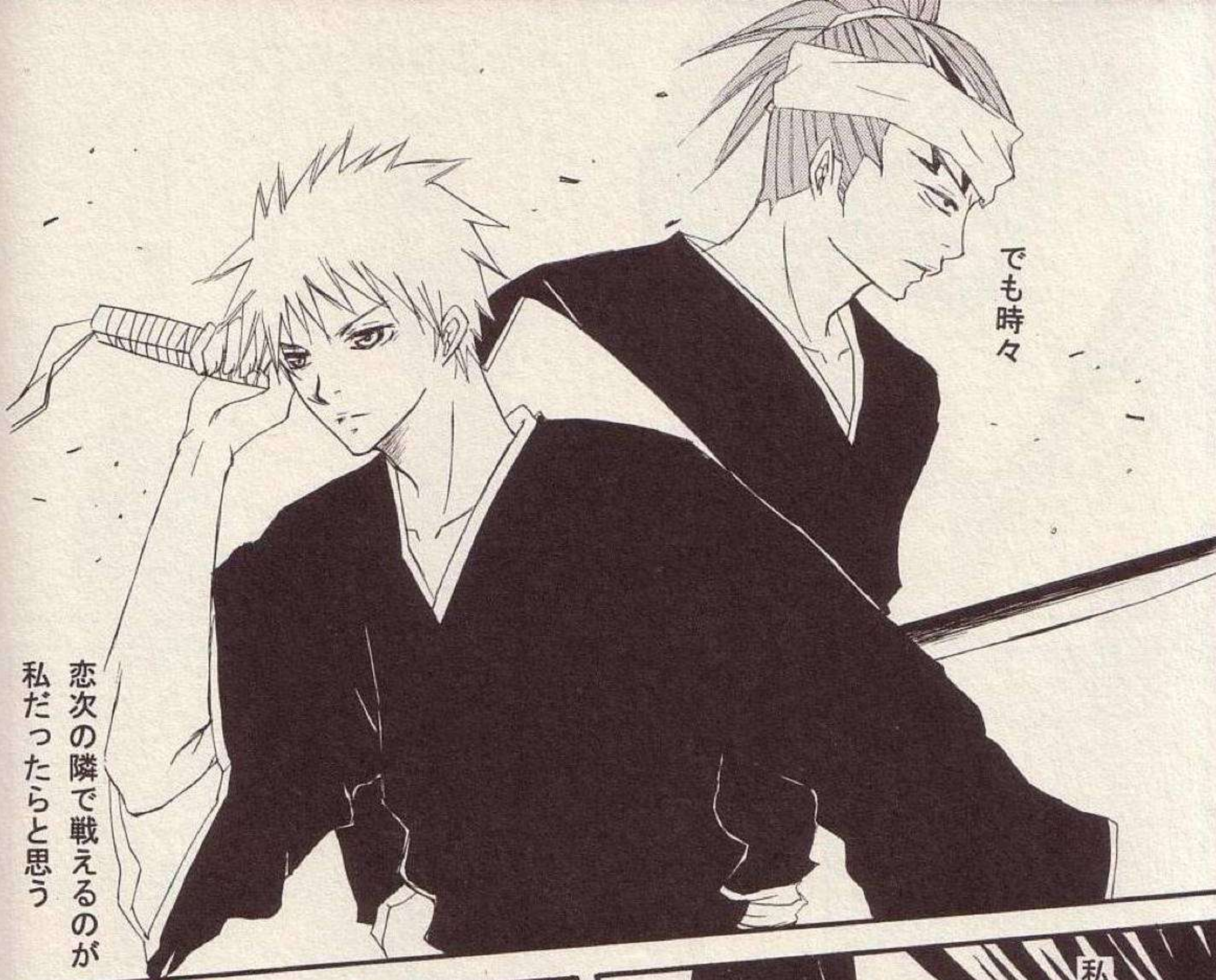


いや わかっておる

あやつはすい







でも時々

恋次の隣で戦えるのが  
私だったらと思う



私は女で



「ありがとう」

「恋次」



時に護られて  
ばかりだ





礼ぐらいしか  
言えぬ



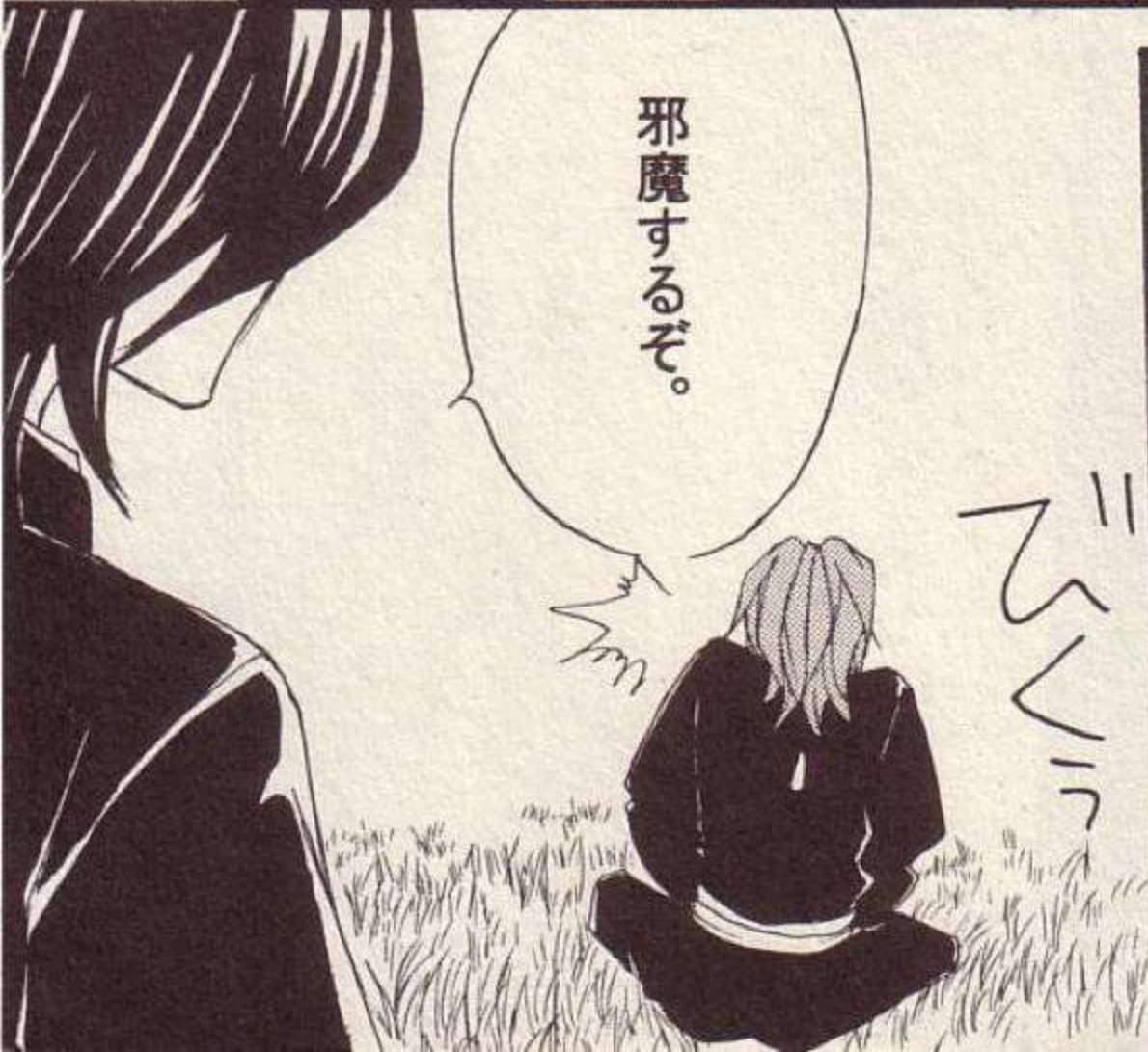
一護は仲間だ

大切な仲間だ

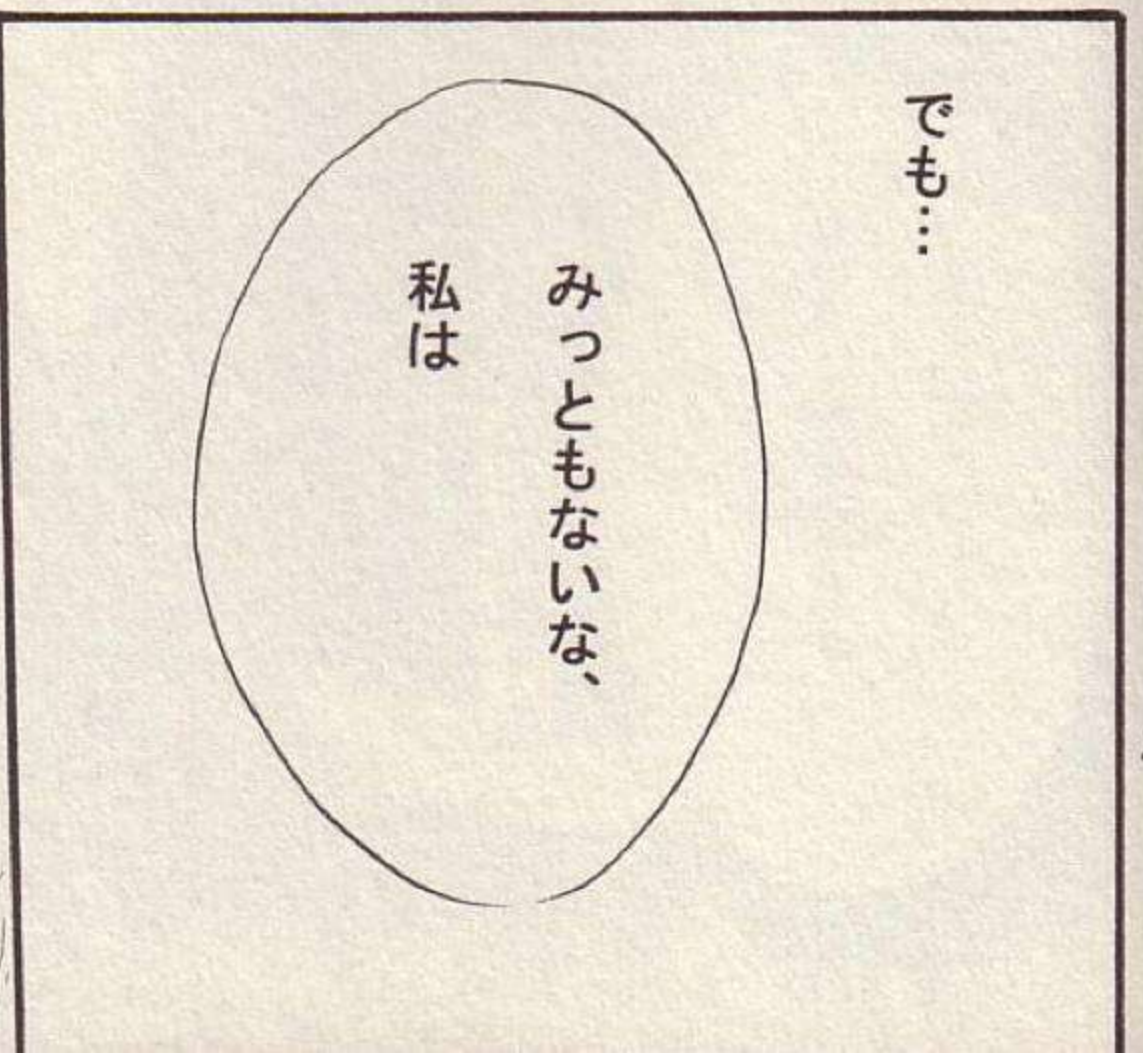


いまさら一護に  
嫉妬してどうする

スマヌ...



邪魔するぞ。



でも...

みつともないな、  
私は





何だこんなところで  
しけた顔して  
せつかくのおすそ  
分けなのに



私でよければお前の  
小さな悩みでも  
聞いてやろう



ポタモチかよ



でも  
こうやっていると

あゝ

これでいいのだと思える

どうしたのさー？



違う  
おはぎだつ！

バカモン！！

一緒だろおつ！！

だ



触れて実感する



一緒にいるのは  
自分だと



発行日 2007年09月02日  
発行人 アップダウンガール・ともくろ。  
印刷 大陽出版様  
メール tomonandayo@hotmail.com

\*普段はサイトでガンダム (seed じゃなくて wing です。デュオヒロ) やってます。

恋ルキは大好き!!!なので、またネタを発掘して、描きたいです。



